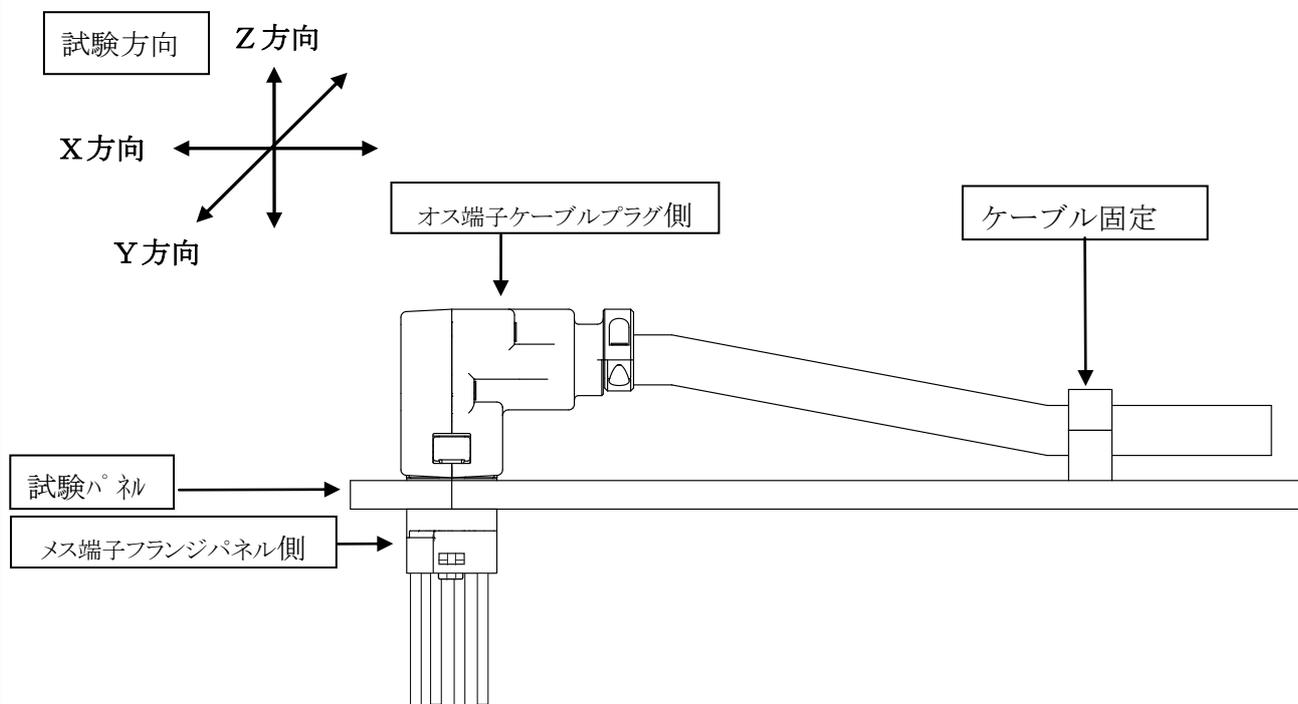


適用規格						
定 格	使用温度範囲	-40 °C ~ 105 °C (注1)	保存温度範囲	-55 °C ~ 85 °C(注2)		
	電 圧	AC 300V, DC 300V	使用湿度範囲	- % ~ - %		
	電 流	12.5A / PIN AWG#18 (UL1007) 時	適合ケーブル	AWG#18~AWG#22 (UL-STYLE:UL1007) 外径 : φ=17.5		
性 能						
	項 目	試 験 方 法	規 格	QT	AT	
構 造	外觀, 構造及び仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。	○	○	
	表示	目視にて確認する。		○	○	
電 氣 的 性 能	接触抵抗	100 mA (DC OR 1000 Hz) 以下で測定する。	5mΩ 以下 (端子間) (注3) 40mΩ 以下 (シェル間) (注3)	○	-	
	絶縁抵抗	DC 500 Vで測定する。	5000MΩ以上	○	-	
	耐電圧	AC 2200Vの電圧を1分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。	○	-	
	コネクタ単体挿抜力	適合コネクタで測定する。	挿入力 3N 以下、抜去力 0.3N 以上	○	-	
機 械 的 性 能	コネクタ 総合挿抜力	適合 コネクタで測定する。	挿入力 98N 以下、抜去力 14.7N 以上	○	-	
	端子固定力 (ランス固定強度)	結線側より、29.4N(1分間) 引抜力を加える。	①端子が保持されていること。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	導体圧着部強度	導体部のみ圧着結線し、引っ張り力を加えた時、保持力は規格値以上のこと。	①AWG#18 89 N以上 ②AWG#20 57.9 N以上 ③AWG#22 35.6 N以上	○	-	
	ケーブルクランプ力	かん合軸方向に、98N(1分間) 引抜力を加える。	①端子が保持されていること。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	繰り返し動作	500 回の抜き差しを行う。	①端子接触抵抗変化量: 10 mΩ以下(注3) ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐振性	周波数 10 ~ 55 Hz, 片振幅 0.75 mm, 3軸方向各2時間試験する。(付図参照)	①10μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向各 3 回試験する。	①10 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
環 境 的 性 能	温度サイクル	温度 -55 → 15~35 → 105 → 15~35 °C 時間 30 → 2~3 → 30 → 2~3 分 を 5 サイクル試験する。	①端子接触抵抗変化量: 10 mΩ以下(注3) ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐熱性	温度 105 °C±2°C 中 96 時間放置する。 (かん合放置)	①端子接触抵抗変化量: 10 mΩ以下(注3) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐寒性	温度 -55 °C±3°C 中 96 時間放置する。 (かん合放置)	①端子接触抵抗変化量: 10 mΩ以下(注3) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
	耐湿性	温度 60 °C±2°C, 湿度 93±3 %中に 96 時間放置する。 (かん合放置)	①端子接触抵抗変化量: 10 mΩ以下(注3) ②絶縁抵抗: 1000 MΩ以上 (乾燥後) ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。	○	-	
(注1) ①動作の保証できる範囲は人の活動できる温度としています。 ②使用温度範囲は通電による温度上昇も含まれます。 ③適合ハウジングに結線した状態での値となります。			(注2) 梱包材は含みません。 (注3) ケーブルの導体抵抗は含みません。			
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日	
△	2	DIS-E-00002673	TS. ITO	TU. TANIGUCHI	20191016	
備 考	上記規格値は適合コンタクトを組み込んだ、適合コネクタでの性能を示す。 試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(JIS C 5402)を適用している。			承認	RI. TAKAYASU	20181210
				検 図	TU. TANIGUCHI	20181210
				担 当	SH. KOYAMA	20181210
				製 図	SH. KOYAMA	20181210
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	SLC-129889-00-00		
HRS	製品規格表		製品名	PQ50S-48P-PCLMA		
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL236-2131-0-00	△ 1/2	

性		能		QT	AT	
項目	試験方法	規格				
環境的性能	混合ガス	SO ₂ 10 ppm, H ₂ S 3 ppm, 湿度 70 ~ 80 % 中に 24 時間放置する。(かん合放置)	機能(接触抵抗)を損なうような はなはだしい腐食がないこと。 接触抵抗変化量: 10 mΩ以下(端子・シェル)	△1	○	-
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水, 48 時間放置する。 (かん合放置)	機能(接触抵抗)を損なうような はなはだしい腐食がないこと。 接触抵抗変化量: 10 mΩ以下(端子・シェル)	△1	○	-

付 図

オス端子ケーブルプラグ&メス端子フランジパネル振動試験方法概略図 (側面)



注 QT:確認試験 AT:製品検査 ○:適用項目		図番	SLC-129889-00-00		
HRS	製品規格表	製品名	PQ50S-48P-PCLMA		
	ヒロセ電機株式会社	製品コード	CL236-2131-0-00	△1	2/2